

ソマリア沖での海賊事件に要注意！

要旨

- アフリカの東部にあるソマリアの沖で、最近、海賊事件が多発しています。
例えば、本年6月に同国東部においてWFP(世界食糧計画)が傭船した船舶がシージャックされましたが、この事件はいまだに解決されていません。
- IMB(国際海事局)は「ソマリアの東部、北東部を航行する船舶は、海岸から少なくとも150マイル以上離れて航行するよう」勧告しています。
同国の現状について、情報をとりまとめました。同国付近の海域を航行される船舶は、注意されるようお勧めします。

1. 食糧援助の船のシージャック事件

本年6月27日に、ケニアの会社が運航するSt Vincent船籍の貨物船、”SEMLOW”(918重量トン)が、ソマリア沖にてシージャックされました。

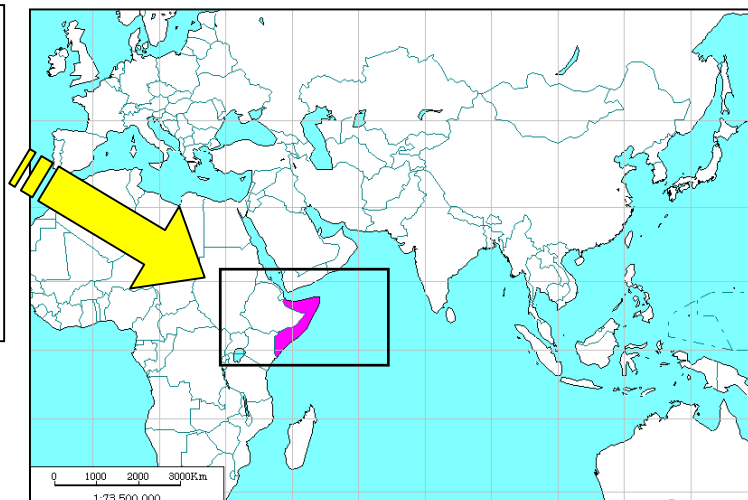
場所は、ソマリア東部にある首都のモガディシュ(Mogadishu)から北東約300キロの地点(HarardhereとHobyoの間の沖合)です。

同船は事件の当時、国連のWFP(世界食糧計画)が傭船して、ソマリアの津波被害者への援助のための日本とドイツの米850トンを積載していました(当時、本船はケニアからソマリア北部のBossaso向け航行中でした)。

犯人は、乗組員10名(スリランカ人の船長、タンザニア人の機関長、ケニア人の乗組員)の身代金として50万米ドルを要求しました。このため、WFPは同国向けの食糧援助を当面中止する、と応じました。その後先方は身代金の要求を取り下げましたが、コメの没収を要求しており、事件は未解決の状態です。

【ソマリア】

アフリカ大陸東端の民主共和国。ジブチ、エチオピア、ケニアと国境を接し、インド洋に面する。1960年にイギリス保護領ソマリランドとイタリア信託統治領ソマリアとが独立合併。1991年に勃発した内戦により国土は分断され、事実上の無政府状態が続いている。面積637,657平方キロメートル。2004年時点の人口830万人。



2. ソマリア海域での海賊事件

ソマリア海域で発生した海賊事件は、昨年は 2 件でしたが、今年は 8 月初旬までに既に 25 件発生しています。

海賊の典型的な方法は、虚偽の遭難信号 (distress flare) を出して通航船をおびきよせてから、武装した海賊が高速ボートで襲撃する、というものです。

ソマリア海域の中では、同国の北東部でも発生していますが、特に東部での事件が多く、危険が高いと報じられています。7 月 26 日には東岸の沖、約 85 マイルで LPG タンカーが襲われましたが、本船が増速して助かった事件が起きました。

3. IMB の警告

ICC (国際商業会議所) の下部組織である IMB (国際海事局) は、世界の海運業界に対して、本年 6 月に下記の勧告を出しました：

「ソマリアに入港しない船舶は、その東部の陸岸から少なくとも 50 マイル以上、また、商業的に可能な限り、さらに離れた沖合いを航行するように」

しかしながら、その後、陸岸から 100 マイル以上離れた場所でも襲撃があったため、8 月以降は次の通り勧告しています：

「ソマリア東部・北東部を航行する船舶は、海岸から少なくとも 150 マイル以上、離れること。また、この水域では VHF を含む無線通信をできるだけ控えるように」

また、IMB は「ソマリアは、現在世界で最も危険な地域のひとつであり、内戦が続き、事実上、無政府状態となっている。」とコメントしています。

(注 1) これらは、IMB のウェブ・サイト (<http://www.icc-ccs.org>) で見ることができます。

(注 2) 同国の国内は、1970 年代後半以降、地方によって異なる“将軍”(warlords) が割拠しており、中央政府は全くない状況にあると報じられています。

以上